

ANNUAL REPORT 2023

第60期 株主通信

2023.4.1~2024.3.31

 **青山商事株式会社**

[証券コード：8219]



2024年3月期総括

株主の皆様におかれましては、日頃より青山商事グループに対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2024年5月6日に創業60周年を迎えることができました。

これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことに伴い、行動制限の緩和が進み、社会経済活動の正常化が進みました。一方で、資源価格の高騰や急速な為替変動に伴う物価高、地政学リスクの影響等から、景気の先行き不透明な状況は続くものと予想されます。

このような状況下、当社グループにおきましても、行動制限の緩和に伴う人流の回復を受けたことや、仕入原価の高騰を踏まえた価格の見直しの実施、経費の効率的な使用に努めたことなどから、当期の当社グループにおける業績は前期を上回る結果となりました。

2025年3月期から2027年3月期の新たな中期経営計画期間における株主還元につきましては、競争力の維持・強化に向けた成長投資を行い、収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する積極的かつ安定的な利益の還元を実施していくことを基本方針といたします。

具体的には、1株当たりの年間配当額60円を下限とし、連結配当性向40%を目途として、利益成長を通じた累進的な配当を行います。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

青山 理

売上高

(単位:百万円)



営業利益又は損失(△)

(単位:百万円)



経常利益又は損失(△)

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失(△) (単位:百万円)



セグメント

ビジネスウェア事業

青山商事㈱ビジネスウェア事業/ブルーリバース㈱/㈱エム・ディー・エス/
㈱栄商/服友㈱/青山洋服商業(上海)有限公司/メルポメンズウェア㈱

売上高増成比
68.7%

当事業の売上高は1,332億10百万円(前期比105.4%)、セグメント利益(営業利益)は78億7百万円(前期比233.7%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事㈱ビジネスウェア事業につきましては、オーダースーツブランド「Quality Order SHITATE」を洋服の青山全店に導入し、多くのお客様にサービスを提供できる環境が整ったことなどから、オーダースーツが好調に推移いたしました。さらに、仕入原価の高騰を踏まえた価格の見直しや、冠婚葬祭需要の回復がみられたことなどから、客数、客単価ともに前年を上回り、ビジネスウェア事業既存店売上高は前期比106.3%となりました。

なお、メンズスーツの販売着数は1,174千着(前期比96.7%)、平均販売単価は31,764円(前期比110.3%)となりました。

■青山商事㈱

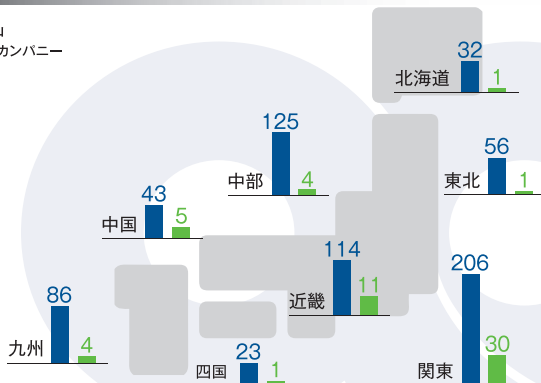
ビジネスウェア事業 商品別売上高		(単位:百万円)		
		前期 金額	当期 金額	増減 比較増減
重衣料	スーツ・スリーピース	34,798	37,105	2,306
	ジャケット	3,412	4,040	627
	スラックス	4,671	4,905	234
	コート	2,197	2,125	△71
	フォーマル	17,218	18,035	816
	ベスト	1,094	1,256	161
軽衣料	シャツ・洋品類	20,278	21,435	1,157
	カジュアル類	2,625	2,703	77
	その他商品	9,461	9,748	287
レディス類	21,843	21,952	109	
補正加工費	3,558	3,528	△30	
合計	121,159	126,837	5,677	

(注)1.その他商品は、靴、肌着、雑貨等です。

2.レディス類には、レディススーツ、レディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

営業店 (2024年3月末現在)

■ 洋服の青山
■ ザ・スーツカンパニー



(注)「スーツスタエア」、「ホワイト ザ・スーツカンパニー」、「ユニバーサルランジェージ」、「ユニバーサルランジェージメジャーズ」及びアウトレット業態については、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

カード事業

㈱青山キャピタル

当事業につきましては、ショッピング取扱高は増加したものの、キャッシング残高が減少したことなどから、売上高は49億59百万円(前期比98.9%)、セグメント利益(営業利益)は20億26百万円(前期比91.9%)となりました。

なお、資金につきましては、親会社であります青山商事㈱等からの借入と社債の発行により調達しております。

また、2024年2月末の有効会員数は391万人であります。

売上高増成比
2.5%

印刷・メディア事業

㈱アスコ

当事業につきましては、印刷・DM売上が増加したものの、前期にあったデバイス関連売上の反動や、原価高騰、販売費及び一般管理費が増加したことなどから、売上高は114億52百万円(前期比93.1%)、セグメント利益(営業利益)は1億24百万円(前期比24.3%)となりました。

売上高増成比
4.5%

雑貨販売事業

㈱青五

当事業につきましては、不採算店舗の閉店を行った一方、経費の効率的な使用に努めたことなどから、売上高は152億32百万円(前期比96.8%)、セグメント利益(営業利益)は2億45百万円(前期比105.4%)となりました。

なお、2024年2月末の店舗数は102店舗(2023年2月末113店舗)であります。

売上高増成比
7.9%

総合リペアサービス事業

ミニット・アジア・パシフィック㈱

当事業につきましては、人流回復や新サービス、価格改定により増収となったものの、採用強化に伴う人件費の増加などから、売上高は133億62百万円(前期比107.9%)、セグメント利益(営業利益)は1億71百万円(前期比58.4%)となりました。

売上高増成比
6.9%

フランチャイジー事業

㈱glog

当事業につきましては、フードサービス事業、リユース事業、フィットネス事業の各事業において、概ね好調に推移したことなどから、売上高は151億57百万円(前期比115.2%)、セグメント利益(営業利益)は10億90百万円(前期比124.9%)となりました。

売上高増成比
7.8%

不動産事業

青山商事㈱不動産事業

当連結会計年度より、不動産賃貸収入が安定的な収入源であるとの認識及び不動産賃貸物件の増加による不動産賃貸収入の増加が見込まれること、また、当社の賃貸用不動産を一元管理、運営する部門において収益性を適切に管理することなどから、新たな報告セグメントとして「不動産事業」を追加しております。

当事業につきましては、売上高は30億66百万円(前期比100.5%)、セグメント利益(営業利益)は5億57百万円(前期比281.8%)となりました。

売上高増成比
1.0%

その他

㈱WTW/㈱カスタムライフ

その他の事業につきましては、売上高は14億89百万円(前期比90.0%)、セグメント損失(営業損失)は2億54百万円(前期はセグメント損失(営業損失)3億16百万円)となりました。

なお、2024年3月末の「ダブルティー」の店舗数は6店舗であります。

売上高増成比
0.7%

(注)1.本資料に記載の金額は単位未満を切り捨てております。
2.「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。
3.2024年3月期連結会計年度より、表示方法の変更を行っており、2023年3月期に係る各数値については、変更の内容を反映させた組替後の数値となっております。

会社概要

社名	青山商事株式会社
設立	1964年5月6日
資本金	625億4百万円
従業員数 (2024年3月31日現在)	6,636名(4,253名)(連結) 2,837名(2,592名)(単体) (注)〔 〕内は臨時従業員であり、外数で記載しております。
事業所	本社 広島県福山市王子町一丁目3番5号 東京オフィス 東京都台東区上野四丁目5番10号青山上野ビル 3階~7階 神辺商品センター/井原商品センター/田川商品センター/千葉センター/ ロジスティクスセンター横浜町田

株主優待割引券のご案内

毎年3月31日及び9月30日現在の当社の株主の皆様へ「株主優待割引券(20%OFF)」をご送付申しあげております。

株主優待割引券の発行基準

毎年3月31日及び9月30日現在の株主名簿に記録された株主各位に対し、そのご所有株式数に応じ、次のとおり株主優待割引券を発行いたします。



所有株式数

100株以上1,000株未満……3枚
1,000株以上3,000株未満……4枚
3,000株以上……5枚

有効期限

対象株主の確定日	郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主	同年7月上旬	翌年6月末日
9月末日現在の株主	同年12月上旬	翌年12月末日

取扱い店舗

「洋服の青山(中国含む)」「スーツスクエア」「ザ・スーツカンパニー」「ホワイト ザ・スーツカンパニー」「ユニバーサル ランゲージ」「ユニバーサル ランゲージ メジャーズ」「麻布テーラー」「WTW(ダブルティアー)」にてご利用いただけます。

(注)各オンラインショップ及びアウトレット業態ではご利用いただけません。

株主メモ

事業年度： 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会： 毎年6月開催
基準日： 定時株主総会 期末配当金 中間配当金
毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
(その他必要がある場合は、あらかじめご告知いたします。)

単元株式数： 100株
公告方法： 当社ホームページに掲載いたします。ただし、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <https://www.aoyama-syouji.co.jp>

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関： 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人： 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所(郵便物送付先)： 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)： 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL)： <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

▶ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

▶ 特別口座に関するお手続きについて

2009年1月5日より、当社をはじめすべての上場会社の株券は、一斉に電子化されております。これに伴い、従来の株券は無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社を通じて証券保管振替機構(「ほふり」)で管理されております。また、株券電子化のお手続きがお済みでなかった株主様の権利は現在、三井住友信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)の特別口座にて管理されており、お手元の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

詳しいお手続きに関しましては、上記の電話照会先にお問い合わせください。

上場証券取引所：東京証券取引所 プライム市場